

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年9月10日
【四半期会計期間】	第45期第2四半期（自平成24年5月1日至平成24年7月31日）
【会社名】	ミライアル株式会社
【英訳名】	Mirai al Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 兵部 行遠
【本店の所在の場所】	東京都豊島区東池袋一丁目24番1号
【電話番号】	03-3986-3782
【事務連絡者氏名】	専務取締役 脇 新市
【最寄りの連絡場所】	東京都豊島区東池袋一丁目24番1号
【電話番号】	03-3986-3782
【事務連絡者氏名】	専務取締役 脇 新市
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第44期 第2四半期連結 累計期間	第45期 第2四半期連結 累計期間	第44期
会計期間	自平成23年 2月1日 至平成23年 7月31日	自平成24年 2月1日 至平成24年 7月31日	自平成23年 2月1日 至平成24年 1月31日
売上高(千円)	6,018,011	6,288,846	11,867,310
経常利益(千円)	1,340,988	1,354,504	2,475,361
四半期(当期)純利益(千円)	646,069	869,528	1,348,608
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	640,434	876,625	1,336,139
純資産額(千円)	15,906,047	16,871,383	16,298,329
総資産額(千円)	20,162,954	20,986,445	20,294,911
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	63.84	85.92	133.27
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	78.9	80.4	80.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	922,772	791,417	1,689,416
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	2,371,455	48,487	2,730,298
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	716,319	365,126	1,078,246
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	5,270,512	5,694,228	5,316,386

回次	第44期 第2四半期連結 会計期間	第45期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 5月1日 至平成23年 7月31日	自平成24年 5月1日 至平成24年 7月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	44.13	53.91

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移等については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第44期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当社グループは、当社及び連結子会社1社・非連結子会社2社により構成されており、プラスチック成形に関する事業を中心に展開しております。

当社グループの事業内容及び当社と連結子会社1社の当該事業に係る位置付けは、以下のとおりであります。なお、次の2事業分野は「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報）」に掲げる事業の種類別セグメント情報の区分と同一であります。

(1) プラスチック成形事業

主要な製品は、シリコンウエハ出荷容器及びシリコンウエハ工程内容器等の半導体関連製品、フルイドシステム、電子部品、金型等のその他関連製品であります。

半導体関連製品.....当社が製造・販売しております。

その他関連製品.....当社・非連結子会社である有限会社創進ケミテックが製造・販売しております。

(2) 成形機事業

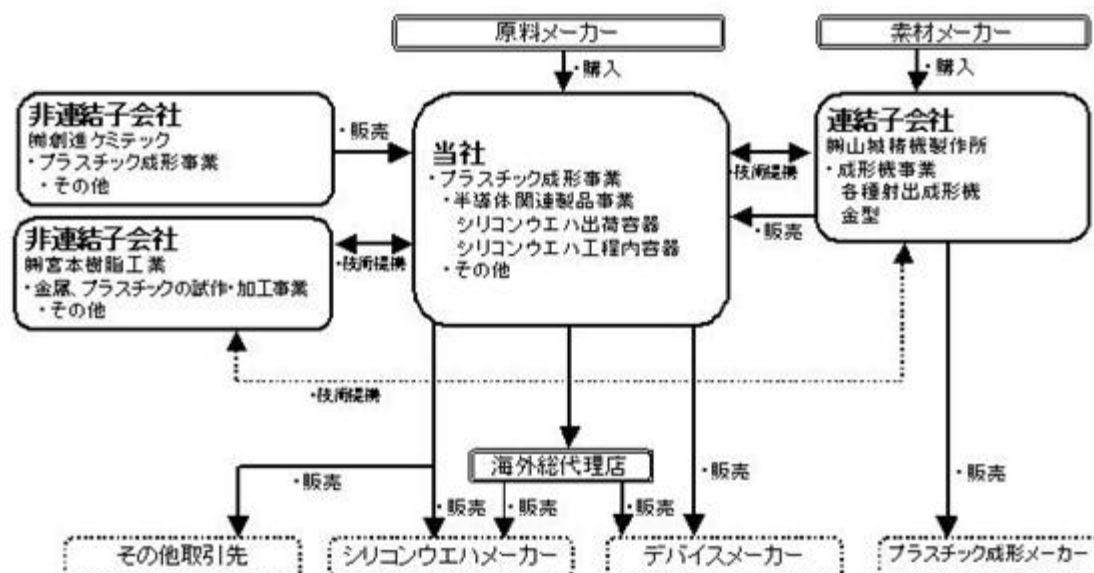
主要な製品は、堅型射出成形機、金型及び関連製品であります。

堅型射出成形機.....連結子会社である株式会社山城精機製作所が製造・販売しております。

金型及び関連製品.....連結子会社である株式会社山城精機製作所が製造・販売しております。

[事業系統図]

以上述べた事項を事業系統図によって示すと次の通りであります。



第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興など緩やかながら景気が持ち直しに向かう動きが見られたものの、欧州債務危機の再燃懸念や常態化しつつある円高、原油価格の上昇等の影響による先行き不透明感が払拭されないまま推移いたしました。

当社グループが属する半導体業界は、前年度後半からの在庫調整が一段落し、回復の傾向が見られてきました。このような経営環境の中、当社グループの主力事業であるプラスチック成形事業は、顧客からの受注増加により、売上高は好調に推移しました。利益面につきましては、プラスチック成形事業の販売数量の増加と生産効率の向上により増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,288百万円(前年同期比4.5%増)、営業利益は1,322百万円(前年同期比12.0%増)、経常利益1,354百万円(前年同期比1.0%増)となり、四半期純利益は、法人税等調整額 182百万円等の計上があり、869百万円(前年同期比34.6%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(プラスチック成形事業)

当事業の主力製品である300mmシリコンウエハ出荷容器「FOSB」は、顧客における前年度後半からの在庫調整局面が一段落し、顧客からの受注増加が見られたことから、売上高は好調に推移し、セグメント利益も増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,428百万円(前年同期比7.2%増)、セグメント利益は1,637百万円(前年同期比7.7%増)となりました。

(成形機事業)

当事業の主力製品である成形機は、震災の影響や円高の長期化等の外部環境により、引き続き予断の許さない状況で推移いたしました。これに対して、更なるコスト改善と高付加価値製品の拡販に注力した結果、売上高は低調に推移したものの、セグメント利益は増加となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は880百万円(前年同期比7.7%減)、セグメント利益は96百万円(前年同期比42.5%増)となりました。

(2) 財政状態の分析

(流動資産)

当第 2 四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて973百万円増加し、15,048百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加575百万円、受取手形及び売掛金の増加587百万円があったこと等によるものであります。

(固定資産)

当第 2 四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて282百万円減少し、5,937百万円となりました。これは主に、投資その他の資産の増加246百万円があったものの、有形固定資産の減少520百万円があったこと等によるものであります。

(流動負債)

当第 2 四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて325百万円増加し、3,175百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少129百万円があったものの、未払法人税等の増加165百万円、住吉第 2 工場増設等の設備関係債務を中心としたその他流動負債の増加244百万円があったこと等によるものであります。

(固定負債)

当第 2 四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて206百万円減少し、939百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少50百万円、繰延税金負債の減少164百万円があったこと等によるものであります。

(純資産)

当第 2 四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて573百万円増加し、16,871百万円となりました。これは主に、四半期純利益869百万円の計上、配当金の支払303百万円による減少があったこと等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ377百万円増加し、5,694百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、791百万円（前年同期は得られた資金922百万円）となりました。売上債権の増加額587百万円等があったものの、税金等調整前四半期純利益1,261百万円、減価償却費194百万円等により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、48百万円（前年同期は使用した資金2,371百万円）となりました。有形及び無形固定資産の売却による収入637百万円等があったものの、定期預金の増加額197百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出239百万円、子会社株式の取得による支出221百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、365百万円（前年同期は使用した資金716百万円）となりました。配当金の支払額303百万円、長期借入金の返済による支出50百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第 2 四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第 2 四半期連結累計期間における当社グループの研究開発活動の金額は、60百万円であります。なお、当第 2 四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,800,000
計	28,800,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年7月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年9月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,120,000	10,120,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	10,120,000	10,120,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年5月1日～ 平成24年7月31日	-	10,120,000	-	1,111,000	-	1,310,000

(6) 【大株主の状況】

平成24年7月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
株式会社ワイエム管財	東京都練馬区向山三丁目 6 - 2 0	1,810	17.88
兵部 行遠	東京都練馬区	1,008	9.96
シービーエヌワイフィデリティス モールキャップバリュー ファンド (常任代理人 シティバンク銀行株 式会社)	82 DEVONSHIRE STREET, BOSTON, MA 02109, USA (東京都品川区東品川二丁目 3 - 1 4)	720	7.11
株式会社SUMCO	東京都港区芝浦一丁目 2 - 1	688	6.79
小南 佐年	東京都練馬区	622	6.15
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー (常任代理人 香港上海銀行東京支 店)	P.O. BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U.S.A. (東京都中央区日本橋三丁目 1 1 - 1)	568	5.62
丸紅株式会社	東京都千代田区大手町一丁目 4 - 2	314	3.11
ビービーエイチ フォー ファイデ リテイ ロー プライズド スト ック ファンド(プリンシパル オール セクター サポートフ オリオ) (常任代理人 株式会社三菱東京U F J 銀行)	82 DEVONSHIRE ST BOSTON MASSACHUSETTS 02109360582 (東京都千代田区丸の内二丁目 7 - 1)	216	2.14
日本トラスティ・サービス信託銀 行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目 8 - 1 1	214	2.12
ミライアル従業員持株会	東京都豊島区東池袋一丁目 2 4 - 1	204	2.01
計	-	6,368	62.93

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成24年7月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,115,800	101,158	-
単元未満株式	普通株式 3,300	-	-
発行済株式総数	普通株式 10,120,000	-	-
総株主の議決権	-	101,158	-

【自己株式等】

平成24年7月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ミライアル株式会社	東京都豊島区 東池袋1-24-1	900	-	900	0.00
計	-	900	-	900	0.00

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年5月1日から平成24年7月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年2月1日から平成24年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,518,486	11,094,228
受取手形及び売掛金	2,279,620	2,867,068
商品及び製品	368,597	305,549
仕掛品	386,129	317,487
原材料及び貯蔵品	157,270	166,791
繰延税金資産	195,119	213,635
その他	177,514	91,906
貸倒引当金	8,063	8,046
流動資産合計	14,074,675	15,048,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,904,293	4,641,800
減価償却累計額及び減損損失累計額	2,907,879	2,716,492
建物及び構築物(純額)	1,996,413	1,925,307
機械装置及び運搬具	5,716,850	5,775,458
減価償却累計額及び減損損失累計額	5,145,976	5,190,830
機械装置及び運搬具(純額)	570,874	584,628
土地	2,152,612	1,448,442
建設仮勘定	84,700	169,400
その他	3,700,980	3,842,839
減価償却累計額及び減損損失累計額	3,420,763	3,406,310
その他(純額)	280,216	436,529
有形固定資産合計	5,084,816	4,564,306
無形固定資産		
その他	59,850	51,788
無形固定資産合計	59,850	51,788
投資その他の資産		
投資有価証券	24,056	245,908
繰延税金資産	180,679	176,098
その他	870,832	899,723
投資その他の資産合計	1,075,568	1,321,730
固定資産合計	6,220,236	5,937,825
資産合計	20,294,911	20,986,445

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,520,123	1,390,221
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
賞与引当金	289,043	328,011
受注損失引当金	3,131	4,482
製品保証引当金	3,823	8,818
未払法人税等	418,437	584,262
その他	515,715	759,833
流動負債合計	2,850,274	3,175,629
固定負債		
長期借入金	129,191	79,191
退職給付引当金	404,784	420,328
役員退職慰労未払金	145,062	145,062
繰延税金負債	296,970	132,458
負ののれん	14,046	-
その他	156,253	162,391
固定負債合計	1,146,308	939,431
負債合計	3,996,582	4,115,061
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,111,000	1,111,000
資本剰余金	1,310,000	1,310,000
利益剰余金	13,899,384	14,465,341
自己株式	4,596	4,596
株主資本合計	16,315,787	16,881,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,458	10,360
その他の包括利益累計額合計	17,458	10,360
純資産合計	16,298,329	16,871,383
負債純資産合計	20,294,911	20,986,445

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)
売上高	6,018,011	6,288,846
売上原価	3,848,122	3,896,013
売上総利益	2,169,889	2,392,832
販売費及び一般管理費	988,900	1,070,103
営業利益	1,180,988	1,322,729
営業外収益		
受取利息	9,200	11,168
受取配当金	204	167
負ののれん償却額	54,961	14,046
保険返戻金	101,775	12,307
受取賃貸料	6,491	4,512
その他	7,812	6,329
営業外収益合計	180,446	48,532
営業外費用		
支払利息	4,287	2,036
減価償却費	15,356	13,815
その他	802	905
営業外費用合計	20,446	16,757
経常利益	1,340,988	1,354,504
特別利益		
固定資産売却益	28,452	1,286
貸倒引当金戻入額	4,776	-
賞与引当金戻入額	37,332	-
負ののれん発生益	20,012	-
特別利益合計	90,574	1,286
特別損失		
固定資産売却損	6,502	165
固定資産除却損	35,507	10,851
投資有価証券評価損	40,606	10,740
減損損失	2,780	72,305
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	62,134	-
特別損失合計	147,531	94,062
税金等調整前四半期純利益	1,284,031	1,261,727
法人税、住民税及び事業税	518,458	574,900
法人税等還付税額	471	245
法人税等調整額	124,287	182,455
法人税等合計	642,274	392,199
少数株主損益調整前四半期純利益	641,756	869,528
少数株主損失()	4,312	-
四半期純利益	646,069	869,528

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	641,756	869,528
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	1,322	7,097
その他の包括利益合計	1,322	7,097
四半期包括利益	640,434	876,625
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	644,762	876,625
少数株主に係る四半期包括利益	4,328	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,284,031	1,261,727
減価償却費	226,278	194,374
減損損失	2,780	72,305
負ののれん償却額	54,961	14,046
負ののれん発生益	20,012	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	4,773	17
賞与引当金の増減額(は減少)	65,778	38,968
退職給付引当金の増減額(は減少)	16,513	15,543
製品保証引当金の増減額(は減少)	1,282	4,994
受注損失引当金の増減額(は減少)	8,138	1,351
受取利息及び受取配当金	9,405	11,336
支払利息	4,287	2,036
為替差損益(は益)	0	38
保険返戻金	101,775	12,307
投資有価証券評価損益(は益)	40,606	10,740
固定資産除却損	35,507	10,851
固定資産売却損益(は益)	21,949	1,120
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	62,134	-
売上債権の増減額(は増加)	59,022	587,448
たな卸資産の増減額(は増加)	96,695	122,170
その他の流動資産の増減額(は増加)	10,225	82,533
仕入債務の増減額(は減少)	140,336	129,901
未払消費税等の増減額(は減少)	12,802	49,610
その他の流動負債の増減額(は減少)	97,918	83,598
その他の固定負債の増減額(は減少)	8,387	4,584
その他	4,430	100
小計	1,778,718	1,189,906
利息及び配当金の受取額	8,719	14,390
利息の支払額	4,592	2,162
法人税等の支払額	860,543	410,961
法人税等の還付額	471	245
営業活動によるキャッシュ・フロー	922,772	791,417

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	2,502,100	400,000
定期預金の払戻による収入	-	202,100
有形及び無形固定資産の取得による支出	22,219	239,196
有形及び無形固定資産の売却による収入	84,253	637,541
固定資産の除却による支出	-	10,851
子会社株式の取得による支出	53,400	221,000
投資有価証券の取得による支出	600	598
保険積立金の積立による支出	78,558	77,341
保険積立金の払戻による収入	199,104	25,587
その他	2,065	35,270
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,371,455	48,487
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	405,697	50,000
自己株式の取得による支出	192	-
リース債務の返済による支出	6,853	11,555
配当金の支払額	303,576	303,571
財務活動によるキャッシュ・フロー	716,319	365,126
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	38
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,165,002	377,841
現金及び現金同等物の期首残高	7,435,515	5,316,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,270,512	5,694,228

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。
運送費 150,220 千円 給料 197,482 賞与引当金繰入額 64,375	運送費 221,431 千円 給料 184,946 賞与引当金繰入額 56,201

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年7月31日)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年7月31日)
現金及び預金勘定 10,202,612 千円 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 4,932,100 現金及び現金同等物 5,270,512	現金及び預金勘定 11,094,228 千円 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 5,400,000 現金及び現金同等物 5,694,228

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年2月1日至平成23年7月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年4月22日 定時株主総会	普通株式	303,576	30	平成23年1月31日	平成23年4月25日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年9月9日 取締役会	普通株式	303,573	30	平成23年7月31日	平成23年10月11日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年2月1日至平成24年7月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年4月24日 定時株主総会	普通株式	303,571	30	平成24年1月31日	平成24年4月25日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年9月7日 取締役会	普通株式	303,571	30	平成24年7月31日	平成24年10月9日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	プラスチック成形事業	成形機事業	
売上高			
外部顧客への売上高	5,064,089	953,922	6,018,011
セグメント間の内部売上高又は振替高	68	-	68
計	5,064,157	953,922	6,018,079
セグメント利益	1,519,951	67,526	1,587,478

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,587,478
セグメント間取引消去	1,603
全社費用(注)	408,093
四半期連結損益計算書の営業利益	1,180,988

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	プラスチック成形事業	成形機事業	
売上高			
外部顧客への売上高	5,428,707	860,138	6,288,846
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	20,425	20,425
計	5,428,707	880,564	6,309,272
セグメント利益	1,637,440	96,248	1,733,689

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,733,689
セグメント間取引消去	3,926
全社費用(注)	407,033
四半期連結損益計算書の営業利益	1,322,729

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表価額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表価額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(デリバティブ取引関係)

当社グループは、デリバティブ取引には、ヘッジ会計を適用しているため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)
1株当たり四半期純利益金額	63円84銭	85円92銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	646,069	869,528
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	646,069	869,528
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,119	10,119

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成24年9月7日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....303,571千円

(ロ) 1株当たりの金額.....30円

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成24年10月9日

(注) 平成24年7月31日現在の株主名簿に記載された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年9月7日

ミライアル株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 猪瀬 忠彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岡田 雅史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているミライアル株式会社の平成24年2月1日から平成25年1月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年5月1日から平成24年7月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年2月1日から平成24年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ミライアル株式会社及び連結子会社の平成24年7月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。